

プラットフォームサービスに係る利用者情報の取扱いに関する ワーキンググループ（第2回）ご説明資料

2021年4月6日

ヤフー株式会社

Data Protection Officer

1. Yahoo! JAPANについて
2. 利用者情報の取扱いについて
3. 今後の取組みについて

1. Yahoo! JAPANについて

多様なサービス、膨大な利用者数、マルチビッグデータを保有する
国内最大級インターネット企業

ユーザーアクションを一気通貫でおさえるサービス群

メディア事業		コマース	
--------	--	------	--

国内最大の利用者基盤

「Yahoo! JAPAN」 のリーチ	日本のインターネットサービス利用者数ランキング (トータルデジタル) *1	第 1 位
------------------------	--	--------------

質の高いマルチビッグデータ

多様性	100+の 多様なサービス	量	月間ログイン ユーザーID数 5,000 万+	鮮度	「Yahoo!検索」 など利用頻度の 高いサービス
-----	------------------	---	--------------------------------------	----	---------------------------------

*1 PCとスマートフォンの重複を除いた「トータルデジタル」でのリーチ(利用者数)
出典：ニールセンデジタル(株)ニールセンデジタルコンテンツ視聴率(2020年4月)

2018年1月24日

「データの会社を目指す」

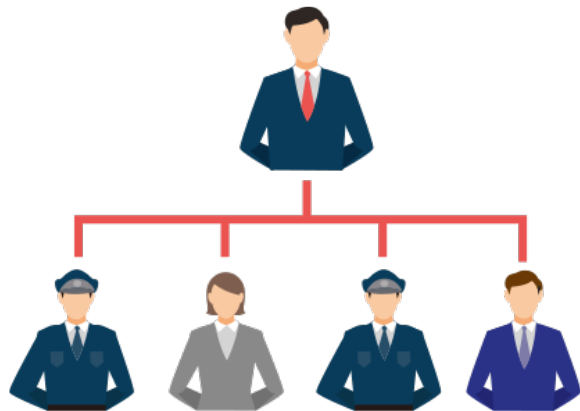




お客様のプライバシー保護が第一です

お客様がYahoo! JAPANのサービスをご利用いただくことで生まれたデータは、お客様のものであると私たちは考えています。お客様のプライバシーを尊重することはもちろんのこと、さらにそのプライバシーを守ることも、私たちの使命です。お客様のプライバシーに対する私たちの考え方について、より詳細な情報を[プライバシーセンター](#)で公開しています。また、[情報セキュリティ](#)の向上にも日々取り組んでいます。

CDO・DD体制



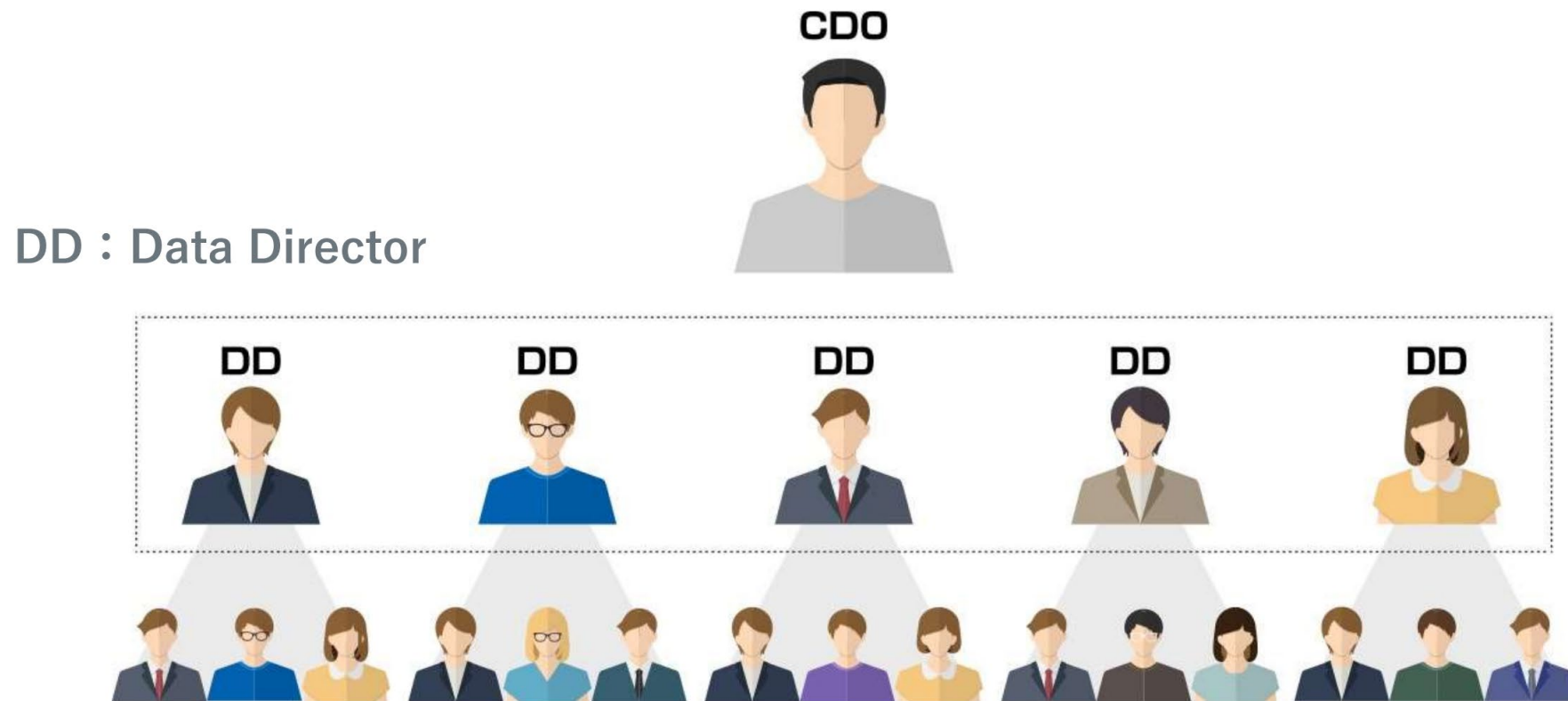
DPOの設置



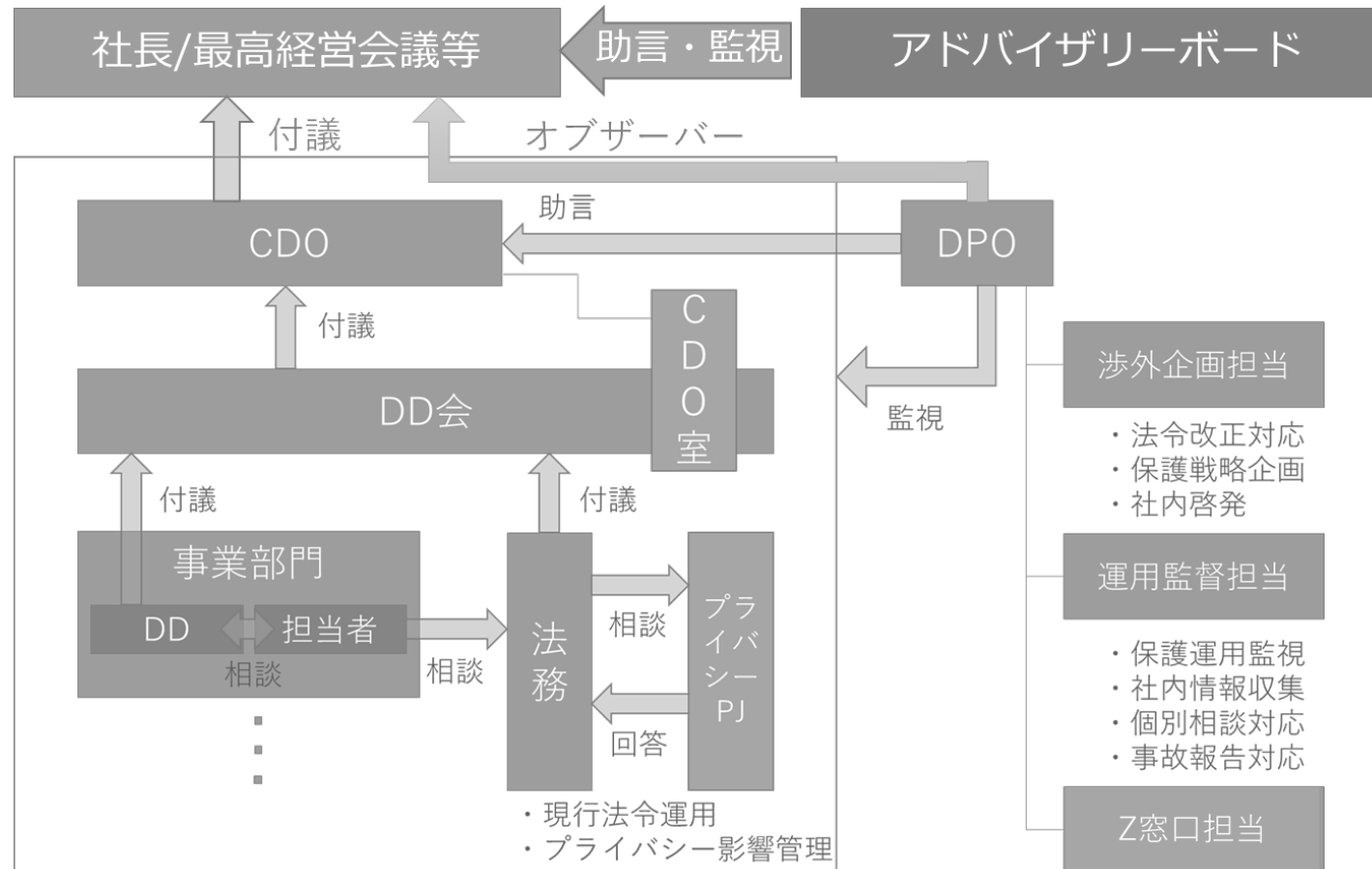
アドバイザリーボード



法令を遵守しプライバシーに配慮したデータの利活用を推進するために、CDO（最高データ責任者）とサービスごとのDD（データ責任者）を設置。



データ保護責任者（DPO）の設置



- 1) 法令の遵守、プライバシーリスクへの十分な配慮、お客様の不当な不利益の排除
 - ・ 関連法令を確実に遵守することが、まずはスタートライン。
 - ・ 本人のプライバシーにどのような影響を与え得るのか、という観点での検討
 - ※ 通常知られたくない事実、不当な差別的取扱いにつながる情報、思想信条に関わる情報などの取り扱いはないか、人生を左右するような重大な局面におけるデータの利用でないか。
 - ・ お客様に一方向的に情報を提供させていないか、お客様にメリットがあるのか
- 2) コンテキストにあった取得と利用
- 3) 透明性、アカウントビリティの確保
 - ・ お客様が予期しないデータの取得や利用は炎上リスクと独禁法違反リスク
 - ・ データの利用方法等について、分かりやすく説明することが重要。
- 4) 本人への選択権の提供
 - ・ 本人に選択肢を提供することは強力なリスクヘッジになる。ただし、実質的に選択できる状態を担保することが必要
- 5) **ガバナンス体制の構築**
 - ・ **以上が組織的に担保される仕組みの構築が必要**



その仕組みの1つとして、「プライバシーに関するアドバイザリーボード」を設置

委員、アジェンダ、主なご意見と対応をプライバシーセンターで公表。

委員（敬称略・五十音順）

- 川口 洋
（株式会社川口設計 代表取締役）
- 穴戸常寿
（座長・東京大学 大学院法学政治学研究所 教授）
- 庄司昌彦
（武蔵大学 社会学部 教授）
- 鈴木正朝
（新潟大学 大学院現代社会文化研究科 / 法学部 教授、理化学研究所 革新知能統合研究センター 情報法制チームリーダー）
- 長田三紀
（情報通信消費者ネットワーク）
- 森 亮二
（英知法律事務所 弁護士）

第1回（2019年8月15日）

1. プライバシーポリシーの改定について

（主なご意見と対応）



グループ企業連携は個社ごとにコントロールできるようにすべき。

ご指摘への対応

個社ごとに連携のオンオフを設定できるようにすることとしました。



プライバシーポリシーの説明について、使われている用語が何を指すのかわからず、また、似た概念が登場してわかりにくい。

ご指摘への対応

記述を見直し、図などを用いてできる限りわかりやすく説明することとしました。



データ利用の目的をもっとわかりやすく記載すべき。

ご指摘への対応

プライバシーポリシーの該当部分からプライバシーセンターを参照しやすくとともに、プライバシーセンターで丁寧に説明することとしました。

2. 利用者情報の取扱いについて

■ 背景

- ・ 情報通信技術（ICT）の加速度的な発展とデータの利用可能性の広がり
- ・ 詳細に記述することによる分かりやすさの限界
- ・ 個人情報とそれ以外の情報の境界の不明確性

■ 主な特徴

- ・ 利用規約の一部であること
- ・ 適用範囲が個人情報だけではないこと
- ・ プライバシーポリシーとプライバシーセンターがあること
- ・ 例外的な第三者提供について一定の範囲で予め同意をいただいていること

お客様とのコミュニケーション方針

YAHOO! JAPAN
プライバシーセンター



ヤフーのプライバシーに対する取り組み

私たちYahoo! JAPANは、インターネットを通じてお客様の生活をより便利で豊かにするとともに、さまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

私たちがこれからもこの役割を考え、何を必要とすると考えています。

そして私たちは、こうした「データ」といいます。を私について、お客様や社会にこのような考え方のもと、「ター」としてまとめました。

パーソナライズ

個々のお客様に最適なコンテンツをはじめとするサービス等を提供する場合（おすすめの商品やサービス等を表示したり、ご案内したりする場合を含みます）に、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用していただきます。たとえば、Yahoo!ニュースでは過去に閲覧したニュース記事等を分析して関心が高いと推定される記事を表示し、Yahoo!ショッピングでは商品の閲覧履歴や購買履歴等を分析しておすすめ商品情報を表示します。

サービス等の改善・新たなサービス等の検討

お客様が、どのような場所から、どのようにサービス等をご利用になったのかという情報をもとにお客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を利用させていただきます。

広告の表示

個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報等）や提供を受けた情報を分析してYahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用していただきます。

お客様のサービス等のご利用履歴は、複数の環境（端末、アプリ、ブラウザ等）の情報を利用する場合があります。

- 幅広くデータを活用しようと思えば、プライバシーポリシーによるコミュニケーションは基本的に困難。
 - コンテキストに沿ったデータの取得と利用が第一。お客様が予想しにくい利用等については事前の丁寧な説明が不可欠。
 - 「お客様の便利のために」というのは大きなおせっかいの場合も多い。できるだけ本人に選択肢を提供する。
- ※ 当社においては、2016年6月に、それまでのプライバシーポリシーにおいてできるだけ詳細にデータの取り扱いについて説明するという方針を改め、プライバシーポリシーにおいてはデータの取り扱いの基本的事項のみを定め、その内容の詳細を図表等を用いて説明する「プライバシーセンター」を新たに開設しました。

プライバシーセンター（およびプライバシーポリシー）において明記

Yahoo! JAPANは、以下のことを行うためパーソナルデータを利用させていただきます。
より詳細は[パーソナルデータの活用](#)をご覧ください。



- 1 お客様に適したサービス等をご提供するため
- 2 お客様からのお問い合わせに対応するため
- 3 商品の配送、代金請求、ポイント付与等をするため
- 4 お客様にサービス等に関するお知らせをするため
- 5 サービス等を安全にご提供するため
- 6 サービス等の改善および新たなサービス等を検討するため
- 7 サービス等のご利用状況等を調査、分析するため

一人ひとりの好みにあわせたニュースをお届けしたり、安心してお買い物を楽しんでいただくために、データを使って日々サービスを改善しています。

認証



ログインの際に、同じお客様からのログインかどうかを確認するため、Yahoo! JAPAN ID、パスワードその他のお客様の登録情報を利用させていただきます。

本人確認



本人確認が必要な一部のサービス等をご利用いただく場合や、お客様からのお問い合わせを受けお客様の本人確認を行う場合に、氏名、生年月日、住所、電話番号、銀行口座番号、クレジットカード番号、運転免許証番号、配達証明付き郵便の到達結果等の情報を利用させていただきます。

パーソナライズ



個々のお客様に最適なコンテンツをはじめとするサービス等を提供する場合（おすすめの商品やサービス等を表示したり、ご案内したりする場合を含みます）に、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。たとえば、Yahoo!ニュースでは過去に閲覧したニュース記事等を分析して関心が高いと推定される記事を表示し、Yahoo!ショッピングでは商品の閲覧履歴や購買履歴等を分析しておすすめ商品情報を表示します。

お知らせ等のご連絡や送付



お客様にお知らせや連絡（Yahoo! JAPANやパートナーの提供するサービス等のご案内を含みます）をしたり、商品等を送付したりする場合に、お客様の氏名、住所、メールアドレス等の連絡先情報を利用させていただきます。

サービス等の改善・新たなサービス等の検討



お客様が、どのような場所から、どのようにサービス等をご利用になったのかという情報をもとにお客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を利用させていただきます。

企業や自治体での統計データの活用



Yahoo! JAPANのデータソリューション事業において、お客様のデータを元に作成した「誰かの情報とは言えない」統計データを、企業や自治体が活用します。

例えば、あるトピックがどのくらい検索されているのか、あるエリアにどのくらい人が集まっているのかなどの分析結果が、お客様の生活を便利するために活用されます。

Yahoo! JAPANが統計データを作成する際には、第三者による解析等を通じてお客さまが特定されることがないように、お客さまのプライバシーの保護に細心の注意を払っています。



個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地、性別、生年月等の情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報等）や提供を受けた情報を分析してYahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。

お客様のサービス等のご利用履歴は、複数の環境（端末、アプリ、ブラウザー等）の情報を利用する場合があります。

行動ターゲティング広告については以下をご覧ください。

[🔗 Yahoo! JAPANの配信する行動ターゲティング広告について](#)

[🔗 広告サービス品質向上について](#)

[🔗 広告設定](#)

➤ 行動履歴による広告内容の最適化オン/オフは「広告設定」から変更が可能



お客様がサービス等をご利用になる端末の位置情報を取得し、サービス等の提供にあたって利用させていただく場合があります。

Yahoo!カーナビでルート案内をしたり、Yahoo! MAPでお客様の現在地を表示したりする場合に利用させていただきます。また、お客様が現在いらっしゃる地域の災害に関する情報をタイムリーに提供する等、サービス等の提供に不可欠な場合のほか、お客様により一層快適にサービス等をご利用いただくために利用させていただきます。

詳細については、「[位置情報の利用について](#)」をご覧ください。

- 位置情報（端末から取得可能なGPS位置情報、Wi-Fi情報、Bluetooth情報等）の取得・利用に際してはお客様の明示的な同意を取得
- 位置情報の利用のオン/オフは「位置情報の送信設定」から変更が可能



お客様がサービス等をご利用になる端末の位置情報を取得し、サービス等の提供にあたって利用させていただく場合があります。

Yahoo!カーナビでルート案内をしたり、Yahoo! MAPでお客様の現在地を表示したりする場合に利用させていただきます。また、お客様が現在いらっしゃる地域の災害に関する情報をタイムリーに提供する等、サービス等の提供に不可欠な場合のほか、お客様により一層快適にサービス等をご利用いただくために利用させていただきます。

詳細については、「[位置情報の利用について](#)」をご覧ください。

- 位置情報（端末から取得可能なGPS位置情報、Wi-Fi情報、Bluetooth情報等）の取得・利用に際してはお客様の明示的な同意を取得
- 位置情報の利用のオン/オフは「位置情報の送信設定」から変更が可能

ユーザーがID連携を行う際に同意ダイアログが表示されます。

dアカウント
https://id.smt.docomo.ne.jp/

このサービスへの情報提供等（注意事項）

- **姓名・生年・性別** ▲
お客様の姓名およびフリガナ、生年、性別を提供します。
- **メールアドレス** ▼
- **住所情報** ▼

[同意しない](#) [同意してはじめる](#)

同意内容は、Yahoo! JAPANのプライバシー設定ページで確認することができます。



ようこそ、

さん

[ヘルプ](#)

各アプリケーションでのデータ利用

お客様のYahoo! JAPAN IDまたはニックネームに関連付けられた情報やデータは、お客様の同意に基づき、以下のアプリケーションやサービス上で利用することが許可されています。

※アプリケーションやサービスへ提供する情報やデータに変更があると、再度同意が必要になる場合があります。その際に同意をしないと、以前の同意内容が継続されます。同意を無効にするには「無効にする」ボタンを押してください。

Yahoo! JAPAN ID:

外部アプリケーション

一休.com

<http://www.ikyuu.com/>

[同意内容](#)

[無効にする](#)

dアカウント

<https://id.smt.docomo.ne.jp/>

[同意内容](#)

[無効にする](#)

ZOZOTOWN

<https://zozo.jp>

[同意内容](#)

[無効にする](#)

dアカウント

<https://id.smt.docomo.ne.jp/>

ヤフーからこのサービスへの以下の情報提供等に同意しています

• 姓名・生年・性別 ▾

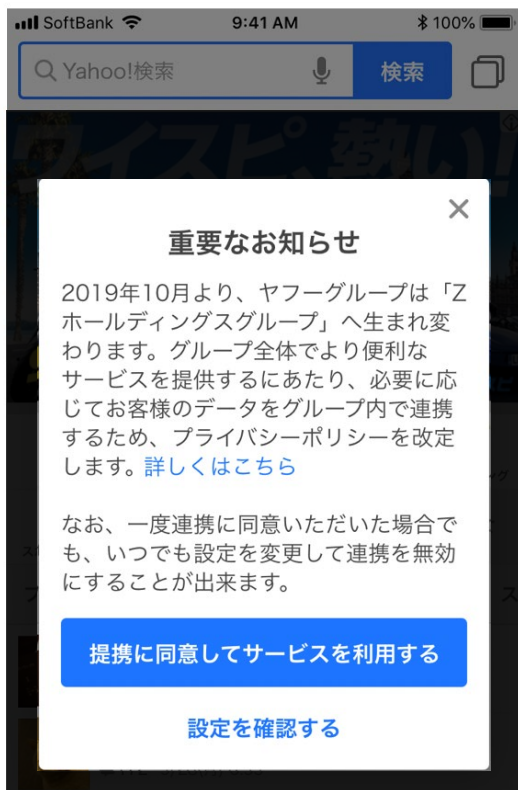
お客様の姓名およびフリガナ、生年、性別を提供します。

• メールアドレス ▾

• 住所情報 ▾

グループデータ連携は、ダイアログにより明示的な同意をいただいたユーザーに提供。同意したあとに個社ごとに連携をオン/オフすることも可能です。

明示的な同意



コントロール機能



グループデータ連携の導入にあたり、ユーザーのプライバシーを保護するために必要なルールと体制を設けました。

プライバシー保護の設計

Yahoo! JAPANとグループ企業におけるデータ連携に関して、お客様のプライバシーを守るために、Yahoo! JAPANが必要なルールと体制を設け、継続的な運用と改善を行っています。

- Yahoo! JAPANのCDO（最高データ責任者）のもとグループ企業各社にデータ責任者を設置し、お客様のデータを守り適切に利用させていただくために組織的な管理を推進しています。
- 連携するデータに関して、氏名や住所など直接特定の個人を識別できる情報は取り扱いません。また、要配慮個人情報や、通信の秘密なども連携を行いません（※3）。
- Yahoo! JAPANが連携したデータをグループ企業から他企業などの第三者へ連携することは禁止しています（※3）。

※3) お客様から個別に同意いただいた場合を除きます。

今後の取組みについて

- 個人情報、プライバシー保護に対する社会の期待の高まり
- 1つのプログラムの不具合が膨大なデータの漏えいを生じさせる可能性
- 事前の十分なプライバシーへの配慮が足りないことによるお客様や社会に受け入れられないサービスの提供の可能性

当社において最近発生した事故

プレスリリース 2020.08.06 シェア 309 ツイート 62

Yahoo! JAPAN IDの登録情報システム不具合に関するお詫びと不具合解消に関するお知らせ

このたび、当社の各種サービスで使用するYahoo! JAPAN ID（以下、ID）の登録情報システムに不具合が発生し、一部の方のID登録情報（氏名・住所・電話番号など）が、他のID登録情報（最大約39万ID）に誤って反映されたことが判明しました。

本件の概要につきまして、下記のとおりご報告いたしますとともに、ID保有者をはじめとする関係者の皆様に、多大なるご迷惑およびご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

なお、ID登録情報が誤って上書きされた方には順次個別にメールにてご連絡をさせていただくとともに、ID登録情報の再入力をお願いしています。また、誤って上書きされた情報の削除はすでに完了しております。

Yahoo!スコアの終了のお知らせ

プレスリリース 2020.06.29 シェア 301 ツイート 0

「Yahoo!スコア」終了のお知らせ

2019年6月にビジネスソリューションサービスの提供開始を発表した「Yahoo!スコア」は、2020年8月31日をもって終了いたします。

2019年6月の発表以降、お客様の声や外部有識者のご意見などをもとに、2019年10月から初期設定では“スコアが作成されない”仕様に変更するとともに、「Yahoo!スコア」のあり方について抜本的な見直しを検討してまいりました。また並行して、お客様ご自身のスコアや受けられる特典等をご確認いただける機能および各種特典等の検討・準備を進めてまいりました。

当社がお客様や社会からの**当然の期待に応え、信頼を得て**引き続きサービス提供できるよう、PIAを導入する。PIAの具体的な実施内容は、その運用を通じて**常に、継続的に改善していく**ことを前提とする。

PIAの目的

- GDPR上のDPIAの対象：「自然人の権利及び自由に高いリスクをもたらすことが予想される場合」
- GDPR上のDPIAの目的：GDPRへの確実な準拠
- ヤフーにおいては、ヤフーのサービスおよびシステムが、個人情報情報の漏えい等を招く不具合がないか十分に検証され、本人のプライバシーへの影響が事前に適切かつ十分に配慮されたものとなることを担保することを目的として実施する。
- 当社の社内規程に規定し、確実な実施を担保
※DPO部門に窓口を設置、広く社内の開発/企画案件に係る相談を受けつける。

PIAの実施手法



以下をそれぞれの主体が文書化する。

- ①当該サービスまたはシステムが実現しようとする事項およびそれを実現する目的と具体的方法の特定
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ②当該目的の必要性和予期されるリスクとのバランスに関する評価
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ③予期されるリスクへの対処
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ④専門部門による影響評価
→法務部門、セキュリティ部門
- ⑤予期される影響への対処と評価
→全部門
- ⑥監視とレビュー
→DPO部門

※ PIA実施中に前提となる①に変更があった場合は①からやり直す。また、既存のサービスやシステムに関しても、情勢の変化等に応じてPIAを実施すべき場合がある。

UPDATE **JAPAN**

情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。